

メキシコ、トルーカ盆地における 人と水の考古学

Archaeology of Lacustrine Life in the Valley of Toluca, Mexico

講師：杉浦洋子

略歴：メキシコ国立自治大学（Universidad Nacional Autónoma de México）で博士号（人類学）取得、メキシコ国立自治大学・文学部・人類学調査研究所・専任研究員を経て、現在「エル・コレヒオ・メヒケンセ（El Colegio Mexiquense）」、特別研究員

研究テーマ：メキシコ州トルーカ盆地を研究の主な対象地域とし、セトルメント・アーケオロジー、そして土器生産や生業復元に関する民族考古学を実施してきた。1997 年からは同盆地のサンタ・クルス・アティサパン遺跡やその周辺地域で発掘調査を率い、古環境を復元すると共に、水と人との関係を中心に古代史理解に努めてきた。その他、地域社会への学術的貢献にも関心を持ち、コミュニティー・ミュージアムの設立にも携わってきた。

2018 年 11 月 23 日 （金曜日）
17:00-18:30

南山大学

※名城線八事日赤駅
より徒歩約8分

S74
教室

お問い合わせ先

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18 南山大学人類学研究所

[Phone]

052-832-3111（代表）

[Email]

ai-nu@ic.nanzan-u.ac.jp